

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
芝居評判◆市村座の「太刀盗人」[大正6・7市村座]	劇評	大橋秀花		演芸画報	大正6・8	演芸倶楽部
東京都劇場だより[昭和23・2三越劇場]	劇評	戸部銀作		幕間	昭和23・3	和敬書店
京都の菊五郎劇団[昭和28・6京都南座]	劇評	桂田重治		演劇界	昭和28・7	演劇出版社
菊五郎劇団の南座六月興行[昭和28・6京都南座]	劇評	伊志多一郎		幕間	昭和28・7	和敬書店
熊谷陣屋その他[昭和30・3歌舞伎座]	劇評			演劇界	昭和30・4	演劇出版社
菊五郎劇団の古典と新作[昭和30・3歌舞伎座]	劇評	三宅周太郎		幕間	昭和30・4	和敬書店
菊五郎劇団続演[昭和30・8東横ホール]	劇評	戸部銀作		演劇界	昭和30・9	演劇出版社
幕間随想◆見得のつらさ[「夏祭」団七・「太刀盗人」すっぱ]	芸談		《4》坂東八十助	幕間	昭和30・9	和敬書店
連続奮闘劇[昭和30・8東横ホール]	劇評	竹越和夫		幕間	昭和30・9	和敬書店
二つの世話物[昭和31・4名古屋御園座]	劇評	前田満穂		幕間	昭和31・5	和敬書店
顔見世第二陣[昭和32・12東横ホール]	劇評	加賀山直三		幕間	昭和33・1	和敬書店

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
初秋の菊五郎劇団 [昭和34・9明治 座]	劇評	三宅三郎		演劇界	昭和34・10	演劇出版社
菊五郎劇団の初秋公 演 [昭和34・9明治 座]	劇評	浜村道哉		幕間	昭和34・10	和敬書店
歌舞伎へのあきらめ [昭和34・11大阪大 阪新歌舞伎座]	劇評	北岸佑吉		幕間	昭和34・12	和敬書店
太刀盗人	解説	加藤長治		『演劇百科大事典』	第三卷	昭和35年10月◆平凡 社◆演劇博物館／編
太刀盗人	芸談		《2》尾上松緑	『踊りの心』		昭和46年10月◆毎日 新聞社
芝居に余韻を [昭和 56・2歌舞伎座]	劇評	杉本嘉代子		演劇界	昭和56・3	演劇出版社
松羽目物	解説	権藤芳一		『歌舞伎事典』◆ 『〈新版〉歌舞伎事 典』		昭和58年11月◆平凡 社◆服部幸雄・富田 鉄之助・廣末保／編 ◆平成23年3月
「乳房榎」の継承 [平成3・7大阪中 座]	劇評	北川忠彦		演劇界	平成3・8	演劇出版社
実力派円熟期の四演 目 [平成3・8歌舞伎 座]	劇評	如月青子		演劇界	平成3・9	演劇出版社
六代目ゆかりの三演 目 [平成13・10三越 劇場]	劇評	津金規雄		演劇界	平成13・12	演劇出版社
二人の資質 [平成 14・4名古屋御園 座]	劇評	津金規雄		演劇界	平成14・6	演劇出版社

題名	種目	執筆者・著者	話者・演者	誌名・著名	号数	備考
堂々たる「暫」 [平成20・4香川金丸座]	劇評	小玉祥子		演劇界	平成20・6	演劇出版社
亀治郎、愛之助の奮闘 [平成22・5名古屋御園座]	劇評	安住恭子		演劇界	平成22・7	演劇出版社
太刀盗人	解説	渥美清太郎		『系統別◆歌舞伎戯曲解題◆下の一』		平成23年1月◆日本芸術文化振興会◆「歌舞伎資料選書・11」
「鎌髭」復活 [平成25・5京都南座]	劇評	宮辻政夫		演劇界	平成25・7	演劇出版社
吉右衛門の芸を堪能 [平成27・10名古屋日本特殊陶業市民会館]	劇評	安住恭子		演劇界	平成27・12	演劇出版社
節目の「秀山祭」 [平成28・9歌舞伎座]	劇評	犬丸治		演劇界	平成28・11	演劇出版社
玉三郎の濃密な劇世界 [令和1・3京都南座]	劇評	坂東亜矢子		演劇界	令和1・5	演劇出版社